

都市局 平成23年度局運営方針

1 基本方針

(1) 取り巻く状況等について

- ・人口減少・少子高齢社会の到来や地球温暖化などの環境問題、また経済のグローバル化によるアジア諸国の躍進と日本の国際競争力の相対的低下、国の新成長戦略における大都市の再生が求められるなど、日本の置かれた状況は大きく変化しつつあります。
- ・本市では、今後、全国でもトップスピードで高齢化が進展し、税収の減少や社会保障費の支出の増加により、都市基盤の整備に必要な投資的経費や老朽施設の維持補修費にかかる財源の確保は厳しさを増すことが予想されます。

(2) 課題について

- ・少子化・高齢化等の社会的課題や環境問題へ対応するためには、持続可能な都市構造に転換し、市民の誰もが安心・安全で快適に暮らすことができ、住み続けたくなるまち、人々が訪れたいくなるような魅力あるまちづくりを推進していくことが求められています。
- ・無秩序な市街地の拡大を抑制するとともに、緑・オープンスペースなど快適な都市空間を創出することが求められています。
- ・これまで整備してきた都市基盤や公共交通網などの集積を活かしながら、さらに質を高め、機能的で活力ある都市構造を目指すことが求められています。
- ・自然環境や歴史、文化資源を再認識し、これらを守り育て、自然等とふれあう場として新しい魅力を創造していくことが求められています。
- ・市民・事業者・行政が互いに共通の理解に立ち、それぞれの役割と責任を担いつつ協働によりまちづくりを進めることが求められています。

(3) 対応策について

- ・持続可能なまちづくりを実現するため、今後の都市計画のあり方を検討します。
- ・市民生活の向上に寄与する、健康で快適な生活環境を確保するため、自然環境の維持・形成、環境負荷の低減に配慮したまちづくりを推進します。
- ・ユニバーサルデザインによる人と環境にやさしい、高齢社会においても誰もが安心・安全に生活できる公共交通基盤を充実させていきます。
- ・市民・事業者・行政それぞれが役割と責任を担う協働によるまちづくりを推進します。
- ・交付金等による事業の財源確保を図るとともに、都市経営の観点から効率的な事業運営を推進します。

2 主な取組

(1) ユニバーサルデザインによる人と環境にやさしい公共交通基盤の充実

- ・ノンステップバスの導入等を行い、バス利用を促進することにより、市民の移動手段の確保を図るとともに、環境負荷の少ない公共交通網の整備を進めます。
- ・岩槻駅及び指扇駅の橋上化・改修を推進するとともに、市内鉄道駅等のバリアフリー化を進め、高齢者や障害者等利用者の利便性向上や安全確保を図ります。

(2) 環境負荷の低減に配慮したまちづくりの推進

- ・人口減少、高齢社会に対応し、低炭素型のコンパクトなまちづくりを実現する効率的な道路ネットワークを構築するため、都市計画道路の見直し候補路線を抽出します。

- ・大宮駅西口自転車駐車を整備することで放置自転車対策に資するとともに、環境にやさしい交通手段である自転車の利用促進を図ります。
- ・見沼田圃などの自然環境の保全・活用を図り、市民の憩える場所を増やします。
- ・市民の憩いやレクリエーションの場となる都市公園の適正な配置に向けて、公園の不足する地域を重点に、引き続き「歩いていける身近な公園」の整備を進めます。
- ・建築物の緑化や緑のカーテン事業など、市民と協働して身近なみどりの倍増に向けて取り組みます。

(3) 魅力ある都市拠点の形成

- ・大宮駅周辺地域を政令指定都市に相応しい都心地区にしていくことを目的とした「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」の具現化を推進します。
- ・浦和駅周辺については、鉄道高架化事業に加えて東北客貨線(湘南新宿ライン)への旅客ホーム新設工事を進めるとともに、都市計画道路田島大牧線の整備等を行います。
- ・武蔵浦和駅周辺における市街地再開発事業(第1街区)を推進します。

3 行財政改革への取組

(1) 市民との協働

コミュニティバス等地域公共交通の導入にあたっては、地域公共交通会議を設置し地域住民や事業者等との協働のもとで検討するとともに、導入・改善・廃止の基準を定めた「コミュニティバス等導入ガイドライン」に沿って、費用対効果を念頭に、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。

さいたま新都心地区のまちづくりにおいて、新都心まちづくり推進協議会との連携による賑わい創出や、ふれあいプラザを拠点にボランティア活動の活性化等を図り、官民連携による魅力あるまちなみ空間の形成を図ります。

(2) 財源の確保

交付金等については、国の動向等を注視するとともに、関係機関との連携を密にすることにより、制度を的確に把握・活用し財源の確保を図ります。

市民による寄付や広告・ネーミングライツ等の促進を図り、新たな自主財源の確保に努めます。

4 都市局予算額

<一般会計>

(単位：千円)

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
41,530,159	38,255,518	3,274,641

<特別会計>

平成23年度当初予算額	平成22年度当初予算額	増減
9,117,000	7,818,000	1,299,000

5 都市局主要事業

(単位：千円)

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
1	バス対策事業 交通不便地区等の交通利便向上を図るため、コミュニティバス等の路線検討や路線バスの利用促進を実施します。	都市交通課	295,361
2	岩槻駅舎改修事業 岩槻駅西口の開設に合わせ、駅舎橋上化及び駅東西自由通路の整備を行い、利便性の向上と活性化を図ります。	岩槻まちづくり事務所	54,048
3	指扇駅周辺まちづくり推進事業 指扇駅北口の開設に合わせ、駅舎橋上化及び駅南北自由通路の整備を行い、利便性の向上と活性化を図ります。	日進・指扇周辺 まちづくり事務所	142,904
4	交通バリアフリー推進事業 バリアフリー法に基づき、埼玉新都市交通大宮駅の多機能トイレ整備や北浦和駅改札外(東西口)エレベーター設計等をはじめとする、市内駅の移動円滑化(バリアフリー化)を推進します。	都市交通課	286,296
5	都市計画道路見直し事業(都市計画推進事業) 持続可能なまちづくりの視点から検討する新しい計画体系に基づき、本市の望ましい将来都市構造を見据えた道路網計画(案)を策定し、見直し候補路線を抽出します。	都市計画課	26,900
6	大宮駅西口自転車駐車場整備事業(自転車駐車場整備事業) 大宮駅西口第四土地区画整理事業地内に地下1階、地上3階で約2,500台収容の自転車駐車場を完成させ、駅前広場の良好な環境づくりを促進します。	都市交通課	320,500
7	見沼グリーンプロジェクト推進事業(見沼田圃の保全・活用・創造事業) 見沼たんぼの歴史や豊かな自然環境を感じ、憩える場所として、見沼代用水や見沼通船堀沿いに休憩施設を設置します。	みどり推進課	10,500
8	緑の核づくり公園整備事業(都市公園等整備事業) 都市公園の適正配置に向け、借地公園制度や河川占用による公園整備、市有未利用地の活用など、様々な整備手法による公園整備を進めます。	都市公園課	1,030,233
9	緑化推進事業 市民の健康で快適な生活環境を確保するため、建築物緑化助成事業等による建築物緑化の推進、記念樹贈呈事業・生け垣助成事業・緑のカーテン事業等による民有地の緑化、「花いっぱい運動」などにより、緑化の推進を図ります。	みどり推進課	61,464
10	大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業(大宮駅東口まちづくり事務所) 氷川緑道西通線の用地買収、(仮)大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業の推進を行うとともに、大宮駅東口公共施設再編の検討を行います。	大宮駅東口 まちづくり事務所	1,995,408
11	鉄道高架推進事業 浦和駅周辺での鉄道高架化事業、東北客貨線乗降場設置事業(湘南新宿ラインの浦和駅停車)及び鉄道との交差道路の整備を行います。	鉄道高架整備課	5,745,994
12	市街地再開発推進事業(浦和駅周辺まちづくり事務所) 浦和駅周辺地区において、商業・業務を中心とした再開発ビルの整備、駅前広場及び都市計画道路田島大牧線の整備等都市基盤整備を行います。	浦和駅周辺 まちづくり事務所	250,116

	事業名(予算の事務事業名) 事業の概要	所属	予算額
13	武蔵浦和駅第1街区市街地再開発事業 武蔵浦和駅第1街区について、都市計画道路等の整備による交通機能の向上、区役所等の公共施設整備による市民の利便性の向上を図るため、市街地再開発事業の施行者に対し補助金を交付します。	浦和西部まちづくり事務所	4,373,250
14	土地区画整理事業 市施行、組合施行等及び都市再生機構施行の各土地区画整理事業の推進、支援及び施行者への補助金支出を行います。	各まちづくり事務所 区画整理支援課	23,691,479